

**平成28年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

平成28年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学の2教科の実施となりました。

国語と数学の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	75.6%				○	
国語B	66.5%					○
数学A	62.2%			○		
数学B	44.9%				○	

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	78.9%				○	
書くこと	73.7%					○
読むこと	78.6%				○	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.9%			○		

【考察】

- 「話すこと・聞くこと」では、話し合い活動を通して自分の考えを広げることができています。今後の授業では、聞き手の立場を考え、話の中心的部分に注意して話す活動などを繰り返して行い、コミュニケーション能力のさらなる向上を図っていきます。
- 「書くこと」では、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるよう、根拠を明確にして書く力が身についています。今後は、文章を読み返し、文の使い方などに注意して書く活動などを繰り返し実施していきます。
- 「読むこと」では、登場人物の心情や行動を正しく捉えて文章の内容を理解できるよう、文脈の中における語句の意味を理解する活動を意図的に取り入れていきます。また、奥付を使って本の情報を得るなどの活動も実施していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いにして読み、歌に表れた作者の思いを想像することができます。今後は、意味調べなど語彙を増やす活動の際、類義語や対義語などの面白さを指導していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
書くこと	58.3%					○
読むこと	66.5%					○

【考察】

- 「書くこと」では、必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く力が身についています。今後は、課題を決め、それに応じた情報の効果的な収集方法を考えて書く活動を取り入れていきます。
- 「読むこと」では、目的に応じて必要な情報を読み取り、文章の展開に即して内容を理解する力が身についています。今後は、文章の中心的部分と付加的な部分を読み分け、要旨をとらえて適切に要約するなどの活動を行っていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	65.9%		○			
図形	67.1%					○
関数	52.0%	○				
資料の活用	56.5%				○	

【考察】

- 「数と式」では、数量の関係を文字式に表すこと、目的に応じて等式を変形することに課題があります。具体的な場面で数量の関係を捉え、文字式に表す問題を小テストに取り入れ、繰り返し学習しながら習熟を図っていきます。
- 「図形」では、証明の必要性和意味を良く理解しています。作図の方法と図形の性質は、理解が不十分なところがありましたので、授業において既習事項を振り返る場を設定し、定着を図っていきます。
- 「関数」では、グラフ、表、式を関連づけた理解が不十分なところがありました。グラフから式、式からグラフに表すなど、それぞれを関連づけた問題を週末課題に取り入れて、繰り返し指導していきます。
- 「資料の活用」では、確率を求める問題が高い正答率でした。数学的な用語が多いため、忘れることのないよう、復習の機会を設定していきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.5%				○	
図形	33.3%	○				
関数	41.4%					○
資料の活用	39.3%					○

【考察】

- 「数と式」では、ある事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。今後の授業において、自分の考えた理由を記述し、説明するなどの活動を多く実施していきます。
- 「図形」では、図形の性質を利用し、筋道を立てて証明することに課題があります。証明の流れや要点を確認し、根拠を明らかにしながら証明ができるよう、一人ひとりの証明の添削を行うなどの個別指導をしていきます。
- 「関数」では、事象を解釈し、問題解決の方法を説明することが、全国平均を大きく上回りました。授業において、問題をグループで考える時間や、自分一人でじっくり考える時間を十分確保し、自分の考えをまとめさせていきます。
- 「資料の活用」では、必要な情報を選択し表現するが、全国平均を大きく上回りました。問題から必要な情報を読み取り、式やグラフにするなどの活動を通して、表現力をさらに高めていきます。